

# 2023 年度 TPM 優秀商品賞 応募のご案内

本賞は、メンテナンス機器に関する新技術の開発と商品化を奨励し、  
メンテナンス技術の進歩と普及を促進するために制定された審査・表彰制度です。  
1983 年制定以来、2022 年までにのべ 175 商品が受賞しています。



公益社団法人 日本プラントメンテナンス協会

Japan Institute of Plant Maintenance

TPM 賞審査事務局

## 概 要

### 1. 目的

メンテナンス機器に関する新技術の開発とその商品化を奨励し、メンテナンス技術の進歩と普及を促進することを目的とします。

### 2. 賞の種類

TPM 優秀商品賞には、以下の 2 賞が設けられています。

#### ■開発賞

本賞の目的に照らして優れた先行性・独創性を重視し、市場性の高さが実証される前の段階でも、開発・商品化が達成されていれば対象となります。独創性ある新技術には、実用化技術、すなわち原理は公知・既知であっても、従来実用化できなかったものを、優れたアイデアや技術開発によって実現したものも含まれます。

#### ■実効賞

本賞の目的に照らし、市場において優れた実績がありメンテナンスの高度化に寄与しているもので、使用上のノウハウが蓄積され、サービスも万全で、ユーザーがいつでも有効に使用でき、大きな実益をあげるものを対象とします。

### 3. 審査

学識経験者ならびに各界のユーザー代表により審査員会を編成、審査にあたります。

審査員会は、応募会社より提出された商品について第 1 次審査(書類審査 9 月)を行い、そこで選出された商品について、第 2 次審査(現物審査 10 月)を行い、受賞商品を決定します。

## 応 募 要 綱

### 1. 応募資格

- ・日本国内で販売されるメンテナンス機器ならびにメンテナンスに関わるシステム、ソフトウェア、サービスの提供。
- ・過去に同一商品の受賞実績がないこと。

### 2. 応募申込み

本案内の応募申込書および審査書類に開発賞、実効賞どちらかを明記して、TPM 賞審査事務局へメールでお申し込みください。

◆申込み締切日:2023 年 7 月 14 日

(TPM 賞審査事務局必着)

### 3. 審査費用

審査費用は開発賞・実効賞ともに下記のとおりです

- ・第 1 次審査(書類審査):「応募 1 商品」につき  
当会正会員・事業所会員 55,000 円(消費税込み)  
一般 121,000 円(消費税込み)
- ・第 2 次審査(現物審査):「応募 1 商品」につき  
当会正会員・事業所会員 121,000 円(消費税込み)  
一般 121,000 円(消費税込み)

#### ※第 1 次審査

応募申込書を受領次第、審査費用をご請求させていただきます。

#### ※第 2 次審査

第 1 次審査に合格した場合、合格通知と一緒に審査費用をご請求させていただきます。

### 《注意事項》

- ①応募申込書、審査用書類とも提出期限を過ぎたものは、審査対象となりません。期限を厳守してください。
- ②提出された書類は返却いたしません。
- ③応募会社名、審査用書類の内容などは審査委員会外へは一切公開いたしません。
- ④工業所有権出願前の発明考案に関わる商品は、特許法 30 条第 3 項、実用新案法第 9 条第 1 項、商標法第 9 条第 1 項の保護が受けられません。

#### 4. スケジュール

項目	日程
1. 応募申込み締切	2023年7月14日
2. 第1次審査及び 第1次審査結果の通知	2023年9月予定
3. 第2次審査	2023年10月予定
4. 第2次審査結果の通知	2024年2月初旬
5. TPM 賞表彰式	2024年3月中旬

### 第1次審査(書類審査)

応募申込書提出後、所定の様式で「審査用書類」をご提出いただき、第1次審査(書類審査)を実施いたします。

#### 1. 審査用書類の作成について

##### (1) 作成上の注意点

- ・用紙: 必ず所定の様式(別添)に則って作成してください。所定の様式でない場合は、再提出していただく場合があります。
- ・開発賞と実効賞では、書類の内容が異なります。下記(2)および(3)を参照してください。
- ・いずれの賞も、①～⑨の各項目について順に記載してください。なお、項目名を明記してください。
- ・各項目とも字数・行数の制約はありませんが、各項目3枚以内としてください。
- ・必要な図表・図面・データ・帳票がある場合は、その部分に挿入してください。
- ・同封の表紙をご使用のうえ、
- ・商品カタログ・パンフレット等がある場合は添付をしてください。

##### (2) [開発賞]の記述項目

- ①当該商品の技術的特徴
  - ・開発した技術の新規性とその効果等を極力データを用いて具体的に記載
- ②当該商品における開発の経緯-1
  - ・開発の着眼点、目的、アイデアのポイント等
- ③当該商品における開発の経緯-2
  - ・開発に当たっての困難点とその克服方法等
- ④当該商品における用途
  - ・使用実績のある、または用途が期待される分野・業種・設備などについて(可能なかぎり納入実績を明記)
  - ・使用時の操作性・保全性・安全性や周辺環境への影響など
- ⑤商品仕様
- ⑥価格もしくは予価
  - ・前提条件(本体のみ、セットなど)があれば明記
- ⑦工業所有権の有無
  - ・申請中の場合はその旨、すでに取得している場合はその種別・ナンバー・件名・登録時期を記載
- ⑧既存商品がある場合は、それとの比較と優位性[技術的側面について]
  - ・商品の性能などの技術面について。比較の対象となる社名・商品名およびデータを極力用いて記載
- ⑨既存商品がある場合は、それとの比較と優位性[経済的側面について]
  - ・コストダウンを図ったなどの経済面について。比較の対象となる社名・商品名およびデータを極力用いて記載
- ⑩当該商品の今後について
  - ・見直すべき点、改良すべき点、あるいは拡張すべき機能など、今後の計画について

##### (3) [実効賞]の項目

- ①当該商品の特徴
  - ・商品としての独自性を、性能・信頼性・操作性・保全性・安全性・経済性などの面から具体的に記述
- ②商品仕様
- ③価格
  - ・前提条件(本体のみ、セットなど)があれば明記する

#### ④工業所有権の有無

- ・ 申請中の場合はその旨、すでに取得している場合はその種別、ナンバー、件名、登録時期を記載

#### ⑤これまでの納入実績

- ・ これまで納入した分野・業種・設備等についての実績、業界におけるシェアなど具体的に記載(過去3年を目安)

#### ⑥ 既存商品がある場合はそれとの比較と優位性

[技術的側面について]

- ・ 商品の精度などの技術面について。また、比較の対象となる社名・商品名およびデータを極力用いて記載

#### ⑦ 既存商品がある場合はそれとの比較と優位性

[経済的側面について]

- ・ コストダウンを図ったなどの経済面について。また、比較の対象となる社名・商品名およびデータを極力用いて記載

#### ⑧顧客サービス体制

- ・ 導入・運用サポート、メンテナンスサービス等について

#### ⑨当該商品の今後について

- ・ 見直すべき点、改良すべき点、あるいは拡張すべき機能など、今後の計画について

### 2. 提出

- ・ メールにて電子データの提出をお願いします。

### 3. 書類提出期限

**2023年7月14日** TPM 賞審査事務局必着

### 4. その他

必要に応じて追加資料のご提出や、不明な点を問い合わせさせていただく場合があります。

## 第2次審査(現物審査)

#### ・実施方法

第1次審査(書類審査)で選出された商品について、当会指定の場所の商品をお持ちいただき、応募企業と審査員の立会のもとで、審査を実施します。日程についてはその際に調整させていただきます。

※社会的状況により審査方法をウェブ会議システムを用いての審査等へ変更する場合があります。

#### ・実施概要

第1次審査書類をもとに、第2次審査用のプレゼンテーション資料の作成をお願いします。プレゼンテーション資料での説明後、商品の動作状況を確認いたします。その後質疑応答を実施させていただきます。

(1)資料の説明+商品の動作状況 25分

(2)質疑応答 10分

## 発表・表彰

審査の結果は、**2024年2月初旬**に開催するTPM賞委員会で決定し、文書で通知いたします。

また、TPM優秀商品賞に選ばれた商品は、**2024年3月中旬**に開催する「TPM賞表彰式」において、表彰いたします。

あわせて、受賞商品は、当会のプラントエンジニア誌・ホームページ・大会・イベント等において広報させていただきます。

## 応募申込み・問い合わせ先

公益社団法人 日本プラントメンテナンス協会 TPM 賞審査事務局

〒101-0051 東京都千代田区神田神保町3-3 神保町SFⅢビル5階

tel.(03)6865-6081 fax.(03)6865-6082 E-mail shinsa@jipm.or.jp

